

心房細動に対するクライオアブレーションにおける 16Fr シース使用の有用性

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがあります、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2018 年 1 月～2019 年 5 月に当院でクライオバルーンを用いたカテーテルアブレーションによる心房細動の治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

既に得られている診療録の情報から手術手技の過程で 16Fr シースを用いることの有効性と安全性を従来の方法と比較して評価することです。研究期間は、当院院長の承認後から 2020 年 5 月までです。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、体格、病歴、画像や血液検査結果、合併症、手術の手技内容 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

西本 隆史

湘南鎌倉総合病院 循環器科・医員

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 TEL 0467-46-1717 (代)

研究責任者：

湘南鎌倉総合病院 循環器科・部長 村上 正人

(2019 年 9 月 9 日作成 (第 1 版))